

第3回 向陽学府新たな学校づくり検討会 会議概要

- | | | |
|---|-----------------------|---|
| 1 | 開催日時 | 令和2年12月15日(火) |
| 2 | 開催場所 | 磐田市役所西庁舎 3階 304・305 会議室 |
| 3 | 出席者(向陽学府新たな学校づくり検討委員) | |
| | 学識経験者 | 千葉大学大学院工学研究科教授 |
| | 地区代表 | 向笠地区長 向笠地区住民代表
大藤地区長 大藤地区住民代表
岩田地区長 岩田地区住民代表 |
| | 保護者代表 | 向陽中学校PTA代表 向笠小学校PTA代表
大藤小学校PTA代表 岩田小学校PTA代表
向笠幼稚園PTA代表 |
| | 学校・園代表 | 大藤こども園PTA代表 岩田こども園PTA代表
向陽中学校長 向笠小学校長 大藤小学校長
岩田小学校長代理 向笠幼稚園長 大藤こども園長
岩田こども園長 向陽学府CSD |
| 4 | 出席職員 | 教育長 教育部長
教育総務課長 学校教育課長 高齢者支援課長 |
| 5 | 事務局 | 学府一体校推進室 |

議事

(1) 向陽学府一体校コンセプト及び多機能型施設について

人と人とのつながりを深め、児童生徒が多様な人とかかわる中で「こころざし」や「たくましさ」を育てていくことを目指す市の方針、多くの福祉施設、豊かな自然に恵まれた環境、これまで行ってきた特色ある教育活動、向陽学府の小中一貫教育が目指す子ども像をふまえ、学校づくりのコンセプトを「日本一やさしさが育つ学校」とすることが事務局より提案されました。

また、これを実現していくための施設として、地域の皆様との多様な体験活動を創出する「家庭科調理室併設ランチルーム」、地域の方との連携を促進する「地域連携室」、福祉施設との交流を支援する「(仮称)福祉交流支援室」の3施設に加え、放課後の安全安心な子どもの居場所となる「放課後児童クラブ」、災害時の炊き出しにも対応できる「共同調理場」が提案されました。

委員の方からは、「やさしさが育つというコンセプトは向陽学府にふさわしくていいと思う」「多機能型施設も大切だが、基本となる学校施設を充実させてほしい」「災害時に授乳室として使えるよう工夫してほしい」等の意見や「地域連携室」の役割について質問が出されました。会議の結果、提案されたコンセプト、多機能型施設の方向性が了承されました。

(2) 整備の基本方針について

整備の基本方針については、「学級数の変動や多様な学習に対応する多機能で柔軟な施設」「児童生徒の『心のゆとり』を生む快適な施設」「児童生徒、地域、教職員のつながりの深化を創出する施設」「児童生徒の安全・安心を考えた施設」「既存校舎を活用した施設設計」の5つが事務局より提案されました。

委員の方からは、「駐車場の確保や敷地内の安全な動線を計画してほしい」「多様性に配慮したトイレを設置する必要がある」「敷地内に交番があるとよい」等の意見や、ランチルームの使い方、ICT 機器の整備の方向性、相談室の必要性等について質問が出され、これらの施設の詳細については、今後の基本計画や設計の中で検討していくことを確認しました。

会議の結果、事務局から提案のあった5つの基本方針が了承されました。